



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成23年8月4日

上場取引所 名

上場会社名 中部証券金融株式会社

コード番号 8513 URL <http://www.chusvokin.co.jp/>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 湯本 崇雄

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役

(氏名) 村瀬 洋

TEL 052-251-1301

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 四半期純利益 | |
|-------------|------|-------|------|-------|------|-------|--------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 208 | △7.0 | 10 | △12.8 | 40 | △16.0 | 19 | △35.1 |
| 23年3月期第1四半期 | 224 | △16.6 | 12 | △40.6 | 47 | 6.2 | 30 | △15.8 |

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|-------------|-------------|--------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 24年3月期第1四半期 | 5.00 | — |
| 23年3月期第1四半期 | 7.71 | — |

(2) 財政状態

| | 総資産 | | 純資産 | | 自己資本比率 | |
|-------------|--------|-----|-------|-----|--------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 24年3月期第1四半期 | 52,256 | 5.0 | 2,589 | 5.0 | | |
| 23年3月期 | 51,139 | 5.0 | 2,571 | 5.0 | | |

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 2,589百万円 23年3月期 2,571百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|------------|--------|--------|--------|------|------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 23年3月期 | — | — | — | 6.00 | 6.00 |
| 24年3月期 | — | — | — | — | — |
| 24年3月期(予想) | — | — | — | 6.00 | 6.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

| | 営業収益 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----------|------|------|------|-------|------|-------|-------|-------|------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 第2四半期(累計) | 450 | △6.9 | 50 | △29.3 | 70 | △40.6 | 40 | △46.3 | 10.06 |
| 通期 | 900 | △2.1 | 90 | △28.3 | 130 | △20.8 | 80 | △22.4 | 20.13 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

| | | | |
|----------|-------------|----------|-------------|
| 24年3月期1Q | 4,000,000 株 | 23年3月期 | 4,000,000 株 |
| 24年3月期1Q | 25,963 株 | 23年3月期 | 25,463 株 |
| 24年3月期1Q | 3,974,207 株 | 23年3月期1Q | 3,975,601 株 |

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P21「(3)業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する定性的情報 | 2 |
| (2) 財政状態に関する定性的情報 | 2 |
| (3) 業績予想に関する定性的情報 | 2 |
| 2. サマリー情報(その他)に関する事項 | 3 |
| (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 | 3 |
| (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 | 3 |
| (3) 追加情報 | 3 |
| 3. 四半期財務諸表 | 4 |
| (1) 四半期貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期損益計算書 | |
| 第1四半期累計期間 | 6 |
| (3) 継続企業の前提に関する注記 | 7 |
| (4) セグメント情報 | 7 |
| (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 | 7 |
| (6) 重要な後発事象 | 7 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第1四半期(平成23年4月1日から同年6月30日までの3か月間)のわが国経済は、東日本大震災の発生によるサプライチェーン(供給網)への影響や、福島第一原子力発電所事故を発端とした電力供給問題等により、生産面を中心に企業活動が停滞し、個人の消費マインドも低調となりました。また外部環境をみましても、南欧諸国の財政危機問題や米国景気減速懸念等から、円高傾向の継続が危惧される不透明な状況となっております。

株式市況についてみますと、9,708.39円で始まった日経平均株価は、5月初旬に一時10,000円を付けましたが、不安定な経済状況を背景として上値の重い展開が続き、結局当第1四半期末は、前事業年度末(9,755.10円)に対し、0.6%上昇の9,816.09円で取引を終えました。この間、当第1四半期末の3市場信用取引買残高は1兆6,387億円と、前事業年度末(1兆4,937億円)に比べ9.7%の増加となりました。

こうした環境の下、当社の資金運用状況をみますと、まず、貸付金の期中平均残高は66億円と、貸借取引貸付金及び金融商品取引業者向け一般貸付金が増加し、前年同四半期(62億円)比4億円の増加となりました。有価証券投資は期中平均残高が352億円と、前年同四半期(373億円)比20億円の減少となりました。また、現金担保付レポ取引による借入有価証券代り金の期中平均残高は87億円と、前年同四半期(42億円)比45億円の増加となっております。

以上のような資金運用状況の下、当第1四半期の営業収益は2億8百万円と、有価証券投資に伴う利息収入の減収により、前年同四半期(2億24百万円)比15百万円の減収となりました。営業費用は調達金利の引下げにより支払利息が減少し70百万円と、前年同四半期(73百万円)比2百万円の減少、また、一般管理費は1億27百万円と、人件費の減少を主な要因として前年同四半期(1億38百万円)比11百万円の減少となりました。

この結果、当第1四半期の営業利益は10百万円と、前年同四半期(12百万円)比1百万円の減益となりました。また、これに営業外損益を加減算した経常利益は40百万円と、前年同四半期(47百万円)比7百万円の減益となり、特別損益及び税金関連費用を加減算した四半期純利益は19百万円と、前年同四半期(30百万円)比10百万円の減益となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末の総資産は、一般貸付金が減少した一方で、現金担保付レポ取引による借入有価証券代り金及び投資有価証券の増加を主な要因として、522億56百万円と、前事業年度末に比べ11億16百万円の増加となりました。負債は、運用残高の増加に伴い、コールマネーによる短期資金調達が増加したため、496億67百万円と、前事業年度末比10億98百万円増加しました。また純資産は25億89百万円と、その他有価証券評価差額金が前事業年度末から改善したことにより、18百万円の増加となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

わが国経済は、サプライチェーン復旧の進行や堅調な外需等に支えられ、輸出や生産活動に持ち直しの動きがみられますが、その一方で内外景気は依然として不透明で、為替相場や株式市況等も方向感の定まらない不安定な状況が続くものと思われま。

こうした想定の下、当社といたしましては、中部地区における証券金融の専門機関として、証券界及び投資家の多様化するニーズ等に適切かつ機動的に対応し、貸付金残高の確保等に努めてまいります。

平成24年3月期の業績予想につきましては、前回(平成23年4月28日)公表の予想値から変更しておりません。

また、業績予想につきましては、さまざまな不確定要素が内在しておりますので、実際の業績は公表予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項は、ありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項は、ありません。

(3) 追加情報

会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用

当第1四半期会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日) |
|---------------|-----------------------|----------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 380,050 | 508,458 |
| 有価証券 | 508,080 | 404,530 |
| 貸借取引貸付金 | 548,665 | 612,255 |
| 一般貸付金 | 5,791,785 | 4,499,381 |
| 貸借取引貸付有価証券 | 6,439 | 3,051 |
| 借入有価証券代り金 | 6,279,474 | 8,404,720 |
| 未収入金 | 2,985,158 | 358 |
| その他 | 281,872 | 167,058 |
| 貸倒引当金 | △3,754 | — |
| 流動資産合計 | 16,777,770 | 14,599,814 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 54,878 | 53,663 |
| 無形固定資産 | 202,704 | 187,681 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 33,169,698 | 36,657,595 |
| 繰延税金資産 | 326,327 | 305,696 |
| その他 | 628,559 | 472,418 |
| 貸倒引当金 | △20,085 | △20,085 |
| 投資その他の資産合計 | 34,104,500 | 37,415,624 |
| 固定資産合計 | 34,362,083 | 37,656,969 |
| 資産合計 | 51,139,854 | 52,256,783 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| コールマネー | 7,000,000 | 13,000,000 |
| 短期借入金 | 38,600,000 | 34,100,000 |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| 未払金 | 423,742 | 49,650 |
| 未払法人税等 | 16,471 | 11,484 |
| 貸付有価証券代り金 | 6,439 | 3,051 |
| 担保金 | 280,000 | 280,000 |
| 預り金 | 4,778 | 7,937 |
| 預り有価証券 | 17,012 | 3,051 |
| 賞与引当金 | 16,007 | 9,122 |
| 役員賞与引当金 | 6,000 | 1,475 |
| その他 | 55,682 | 58,968 |
| 流動負債合計 | 48,426,133 | 49,524,741 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付引当金 | 100,448 | 100,688 |
| 役員退職慰労引当金 | 41,944 | 41,944 |
| 固定負債合計 | 142,392 | 142,632 |
| 負債合計 | 48,568,525 | 49,667,373 |

(単位：千円)

| | 前事業年度 (平成23年3月31日) | 当第1四半期会計期間 (平成23年6月30日) |
|--------------|-----------------------|----------------------------|
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 200,000 | 200,000 |
| 利益剰余金 | | |
| 利益準備金 | 50,000 | 50,000 |
| その他利益剰余金 | | |
| 配当準備積立金 | 191,000 | 191,000 |
| 圧縮記帳積立金 | 17,622 | 17,557 |
| 別途積立金 | 1,530,000 | 1,530,000 |
| 繰越利益剰余金 | 983,665 | 979,773 |
| 利益剰余金合計 | 2,772,288 | 2,768,331 |
| 自己株式 | △5,879 | △5,975 |
| 株主資本合計 | 2,966,409 | 2,962,355 |
| 評価・換算差額等 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △395,080 | △372,945 |
| 評価・換算差額等合計 | △395,080 | △372,945 |
| 純資産合計 | 2,571,328 | 2,589,410 |
| 負債純資産合計 | 51,139,854 | 52,256,783 |

(2) 四半期損益計算書
第1四半期累計期間

(単位：千円)

| | 前第1四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日) | 当第1四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日) |
|--------------|---|---|
| 営業収益 | | |
| 貸付金利息 | 40,744 | 40,520 |
| 借入有価証券代り金利息 | 1,293 | 1,933 |
| 受取手数料 | 1,471 | 1,431 |
| 有価証券貸付料 | 1,221 | 351 |
| 有価証券利息配当金 | 179,735 | 164,609 |
| 営業収益合計 | 224,465 | 208,846 |
| 営業費用 | | |
| 支払利息 | 50,920 | 48,060 |
| 支払手数料 | 21,281 | 22,118 |
| 有価証券借入料 | 1,241 | 600 |
| 営業費用合計 | 73,443 | 70,779 |
| 営業総利益 | 151,022 | 138,067 |
| 一般管理費 | 138,679 | 127,305 |
| 営業利益 | 12,342 | 10,762 |
| 営業外収益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 683,358 | 353,912 |
| その他 | 472 | 470 |
| 営業外収益合計 | 683,830 | 354,382 |
| 営業外費用 | | |
| 投資有価証券売却損 | 508,751 | 156,672 |
| デリバティブ取引運用損 | 139,518 | 168,233 |
| その他 | — | 0 |
| 営業外費用合計 | 648,270 | 324,906 |
| 経常利益 | 47,902 | 40,238 |
| 特別利益 | | |
| 貸倒引当金戻入額 | 71 | — |
| 特別利益合計 | 71 | — |
| 特別損失 | | |
| 投資有価証券評価損 | — | 1,096 |
| 特別損失合計 | — | 1,096 |
| 税引前四半期純利益 | 47,974 | 39,141 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 15,467 | 13,387 |
| 法人税等調整額 | 1,839 | 5,863 |
| 法人税等合計 | 17,306 | 19,250 |
| 四半期純利益 | 30,667 | 19,890 |

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項は、ありません。

(4) セグメント情報

当社の事業は、有価証券を担保とした貸付業務及び有価証券運用業務並びにこれらの付随業務の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項は、ありません。

(6) 重要な後発事象

該当事項は、ありません。